

令和 5 年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

家庭健康課

2. 事業名

若林区健康づくり区民会議

3. 事業の概要

「仙台市いきいき市民健康プラン」の実施に向け、平成 14 年度に若林区内の市民団体や教育機関、関係団体で構成する「若林区健康づくり区民会議」を設置した。そこで健康づくりの指針となる「若林区健康づくり行動計画」を策定している。現在、「第 2 期若林区健康づくり行動計画」のもと、区民協働の健康づくり事業として、健康づくりフェスティバルや健康づくり寸劇の制作・上演などによる健康づくり啓発を実施している。

実施にあたっては、関係団体により構成されている委員と、若林区の健康課題の分析や区民が取り組みやすい事業展開について検討している。

4. 事業の目的・ねらい

「区民会議」と行政とが協働で区民の健康づくりの推進を図ることを目的とする。

5. 事業の成果・効果

若林区の健康課題を分析した結果を受け、令和元年度より重点項目に高血圧予防を掲げ、ライスステージ毎での事業展開および重点地区の介入を会議で確認し実施してきた。

令和 2 年度以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染予防に配慮しながら健康づくりの啓発活動を行ってきたが、令和 5 年度は 5 類となり、感染予防は継続しつつ、健康づくり推進のキャラクターである「わかちゃん」を活用しながら啓発活動を行っている。

区民会議は 4 年ぶりに開催し、若林区健康づくり行動計画の最終評価及び令和 5 年度の健康づくりの事業について報告し、今後に向けてのご意見をいただいた。

6. 事業費（決算額）

（見込額）

講師謝礼	26,000
その他(土産等)	10,000
消耗品	334,000
印刷費	109,000
食糧費	62,000
事務機器賃貸料	5,000
賃借料	1,000
合計	566,000

7. 実施状況

実施時期	実施内容
5月	1) 第1回健康づくり寸劇 劇団員交流会
6月	1) 第1回健康づくりフェスティバル実行委員会 2) 健康づくり寸劇 荒井東茶話会 3) // 六丁の目町内会
7月	1) 第2回健康づくりフェスティバル実行委員会 2) 健康づくり寸劇 沖野館町内会 3) // 上荒井元気アップサロン
9月	1) 第3回健康づくりフェスティバル実行委員会
10月	1) 第4回健康づくりフェスティバル実行委員会 2) 若林区民健康ウォーク・ラジオ体操大会 悪天候で中止、資料配布
11月	1) 健康づくりフェスティバル開催 2) 健康づくり寸劇 フェスティバルに出演 3) // 沖野中柵町内会サロン
12月	1) 令和5年度 第1回 若林区健康づくり区民会議 開催 2) 第5回健康づくりフェスティバル実行委員会 (反省会) 3) 健康づくり寸劇 下荒井老人クラブほのぼの会 4) // 六郷保育園 5) 防煙教育 連坊小、沖野中、若林小
1月	1) 健康づくり寸劇 神屋敷サロン 2) 防煙教育 古城小
2月	1) 健康づくり寸劇 ほのぼのサロン会 (蒲町)
3月	1) 第2回健康づくり寸劇 劇団員交流会 (予定)
年間	健康づくり行動計画に連動して事業を実施 健康づくり寸劇練習会 (計7回)

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

久しぶりの開催となった区民会議については、委員のメンバーが入れ替わり、当該会議の主旨をご理解いただくことに留意し実施した。

「健康づくりフェスティバル」「健康づくり寸劇」等の事業の継続については、健康づくり啓発としての効果や効率化に向けて、方向性や手法の検討が課題である。

9. 今後の事業の目標・展開等

若林区の特定健診の血圧の有所見率は低くなってきているが、メタボリックシンドローム該当率は高い状況である。事業全体のテーマを、こどもの肥満予防と成人のメタボ該当者の減少をメインとし、取り組んでいく予定。

今年度の最終評価を期に、区独自の健康づくり行動計画の策定は行わないが、3月策定予定の市のプランに沿う形で、今後は区のアクションプランを検討していく。

区の健康課題に合ったアクションプランとするため、幼児健診、特定健診の分析結果やKDBを活用し、地区保健活動と連動した区全体の健康課題の分析を進める。

令和 5 年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

家庭健康課

2. 事業名

六郷地区健康づくり推進事業

3. 事業の概要

六郷地区は乳幼児期・学齢期において肥満の割合が高く、青年期・壮年期においては健診の有所見者率や生活習慣病で治療している人の割合が高い地域である。区内でも健康課題の多い六郷地区において、生活習慣病やその予防について正しい知識を普及啓発し、住民の健康増進を図る。さらには区全体の健康増進につなげる。

4. 事業の目的・ねらい

六郷地区の住民が地域の健康課題を認識するとともに、自らの健康状態や生活習慣を振り返り、生活習慣改善のための自主的な取組を継続的にを行うことを目的とする。

5. 事業の成果・効果

六郷健康づくり推進事業は、令和 3 年度から 5 年度までの 3 か年で実施してきた。地域の拠点である六郷市民センターと地域の健康課題を共有し、令和元年度、3、4、5 年度に同市民センターの懇談会で子育て及び地域関係者を対象としたワークショップを共催し、自分自身の健康を振り返りつつ、自分たちの所属や関係機関と連携できる取り組みについて考えた。またワークショップやイベント、健康教育等を実施しながら、地域の関係者とのつながりを広げた。

6. 事業費（決算額）

（見込額）

講師謝礼	218,000
消耗品	473,000
印刷費	165,000
食糧費	5,000
使用料	12,000
合計	873,000

7. 実施状況

実施時期	実施内容
11月12日	六郷市民まつり ・パネル展示・げんきくん体操・尿ナトカリ比測定
8月、12月	六郷健康通信 住民、関係機関等へ配布(2,500部) 4月発行予定
8月	「六郷健康レシピ」を活用した「親子料理教室」の開催 “東六郷・東部かあちゃん’ず”、青葉短大と協働で実施
11月	六郷健康レシピ(冬号)作成、配布
通年	健康意識アンケート調査を実施、令和3年度と比較している。
10月 12月	地域向け 健康づくりを考えるワークショップの開催 ・子育て関係機関、地域団体を対象に市民センターと共催実施 ・ナトカリ測定結果報告と併せ学区民体育振興会の研修会で実施。
通年 9月	幼児健診保健指導強化(啓発及び保健指導) ・地域の子育て関係機関向け 幼児肥満研修会開催
5～8月 7月、12月	・子育て関係機関との連携に向けて訪問、資料配布、説明の実施 ・保育園、幼稚園の保護者や園児を対象に健康教育の実施
9月 11月	生活習慣病予防をテーマに、ゲストティーチャー事業の実施 ・六郷小学校 ・六郷中学校
9月、11月	六郷児童館で0歳、1歳、2歳児向け乳幼児ワークショップの実施
6月～	地元スーパー(プロマート)の協力で、啓発物掲示と資料配架
通年	サロン支援として健康づくり講座、尿ナトカリ比測定等の実施
通年	体験型尿ナトカリ比測定(血圧測定と併せて)の実施 8か所 計164名
通年 6、8、10、2月	事業評価のためのスーパーバイズ受講及びその後の検討 (スーパーバイズ受講、ワークショップ等研修会講師依頼)

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

健康づくりの意識を地域に根付かせるためには、まずは関係機関、地域の団体と健康課題を共有し、その課題に共に取り組むパートナーを増やすことが大事だと、3年間の取組みで実感することができた。

また、事業評価についてスーパーバイズを受けられたことは、大変参考になり、有意義であった。

なお、自主的な取組みの継続については、その主体となり得る団体等の掘り起こしと関係機関とのつながりがカギとなり、今後の地区保健活動にも共通する課題である。

9. 今後の事業の目標・展開等

次年度は、健康課題が「幼児の肥満」と「壮年期のメタボ」と、六郷地区と類似性が見られる沖野地区に事業を展開する。アプローチの対象としては乳幼児とその保護者とし、連携可能な関係機関や地域の団体等を模索しながら効果的な支援方法を検討する。

六郷地域については、3か年のまとめを懇談会や健康通信等を活用して行い、今後は地区保健活動として支援を継続する。

令和 5 年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

区民生活課

2. 事業名

若林区安全安心街づくり活動推進事業

3. 事業の概要

過去に「安全安心街づくり活動推進モデル地区事業」を展開した地区に対し、全国地域安全運動期間（10/11～10/20）を中心に啓発活動などへ参加し事業を展開した。

具体的には、六郷地区において防犯協会との共催により、商業施設での街頭啓発活動を実施した。

また、連坊地区と若林地区においても、防犯協会が主催する啓発活動に参加した。

その他、今回初めて各单位防犯協会との情報交換会を、区防犯協会連合会との共催により実施した。

4. 事業の目的・ねらい

「仙台市安全安心街づくり条例」第 2 条（「この条例において「安全安心街づくり」とは、犯罪の防止に関する自主的な活動、犯罪の防止に配慮した環境の整備その他の犯罪の発生する機会を減らすための取組をいう。」）の内容に沿った活動を行っている団体への支援を行うことを目的とした事業である。

本事業では、過去にモデル地区事業を展開した地域のフォローアップを目指し、地域団体からそれぞれの地域における課題や要望等を把握したうえで啓発活動をはじめとする各種活動を展開した。

5. 事業の成果・効果

令和 5 年 11 月末時点において、本区における刑法犯認知件数は、590 件と仙台市内 5 区の中で最も少ない数字であった。また、前年同期比も 75 件減で-11.3%の減少と 5 区の中で唯一減少していた。また侵入盗をはじめとする重要窃盗犯の件数も 48 件と前年同期比で 32 件、40.0%の減少率であった。

このことから、日頃各団体が実施している活動の成果が当該数字の結果に資するものであったと思量され、これらに本区が関わったことについても意義があったものと思量される。

6. 事業費（決算額）

※見込み額

講師等謝礼 33 千円 消耗品費 264 千円 食糧費 3 千円 計 300 千円

7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和5年10月11日 (全国地域安全運動期間)	六郷地区防犯協会にて実施の防犯パトロールに参加、その後地区内の商業施設前にて特殊詐欺防止啓発活動を実施
令和5年10月12日 (全国地域安全運動期間)	連坊地区町内会連合会主催の交通・防犯・防火等安全安心キャンペーンの一環として実施された街頭パレードに参加
令和5年10月13日 (全国地域安全運動期間)	若林地区防犯協会にて実施の金融機関における特殊詐欺防止啓発活動に参加
令和5年11月14日	連坊地区防犯協会にて実施の自転車盗難防止キャンペーンに参加
令和5年11月16日	六郷地区防犯協会の青色回転灯パトロール車出動式に参加。その後、区のパトロール車にて地区内を巡回。
令和6年2月15日	若林区内単位防犯協会との情報交換会を実施し、各単位防犯協会の状況について相互に情報交換を行った。 また、「仙台荒町子まもりプロジェクト」の実行委員長を講師に招き、活動の内容を紹介していただいた。

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

<p>本区が働きかけた団体が防犯協会のみとなった点が課題である。</p> <p>防犯協会については、区内の主要な地域とはある程度連携した状況であると考えられるが、地区によっては単位防犯協会の活動に差が出る状況であり、その結果が上記の事業に現れている。</p> <p>活動が比較的低調な地域においてどのような働きかけや支援を行うかが課題となると思われる。</p> <p>今年度は初めての試みとして、区内単位防犯協会等の情報交換会を開催した。</p> <p>その中で、多くの協会が指摘したのが町内会活動とも共通している「担い手」の不足であった。現役世代は日中忙しく活動できず、会員の高齢化が進んでいるとのことであり、このことが前述の状況につながっていると思われる。</p> <p>この他、区に対しては啓発物品の提供など支援が十分届いているとの感謝の意を得た。</p> <p>各単位防犯協会と情報を共有することの重要性を改めて認識したが、協議事項の工夫や開催時期をはじめ、会議の時間配分など、検討を要する余地がある。</p>

9. 今後の事業の目標・展開等

<p>今年度の事業展開、特に情報交換会を通年開催するかについては、各単位防犯協会の意見も聴きながら上記の課題を整理しつつ、より顔の見える関係づくりを目指して進めていく。</p>
--

六郷地区防犯協会における防犯キャンペーンについて

実施日時:令和 5 年 10 月 11 日(水)16:30~18:00

相手方:六郷地区防犯協会
若林警察署六郷交番

上記日程において実施された標記の活動について、概要は下記の通り。

実施内容

- ①青色回転灯車両による防犯パトロール(16:30~17:30)
- ②防犯を呼びかけるチラシ及び啓発品の配布活動(17:30~18:00)

実施場所

- ①六郷・沖野中学校区内(集合場所:上飯田大町町内会集会所)
- ②プロマート今泉店 店舗敷地内
(住所:仙台市若林区上飯田四丁目 14 番 58 号)

対象

- ①六郷地区防犯協会管内居住者
- ②上記店舗来店者

活動中の写真



連坊地区における防犯キャンペーンについて

実施日時:令和 5 年 10 月 12 日(木)13:30~15:00

相手方:連坊地区町内会連合会

若林地区交通安全協会連坊支部

連坊地区防犯協会

交通安全母の会連坊支部

女性防火クラブ連絡協議会連坊支部

若林警察署連坊交番

上記日程において実施された標記の活動について、概要は下記の通り。

実施内容

下記のコースを各種団体のメンバーがパレードを行い、防犯、防災及び交通安全の意識高揚を図った。

光寿院前→東八番丁通り→連坊通り→地下鉄東西線連坊駅東口→仙合一高前→須賀神社境内

区役所は青色回転灯パトロールカーにて参加者の安全確保と拡声器使用による啓発活動への協力を実施した。

活動中の写真



若林地区防犯協会における防犯キャンペーンについて

実施日時:令和 5 年 10 月 13 日(金)10:00~11:00

実施場所:杜の都信用金庫六郷支店前

相手方:若林地区防犯協会

実施内容

年金支給日に合わせ、杜の都信用金庫出入口付近において、区内において特殊詐欺被害が増加している旨を伝えながら、チラシや啓発用品の提供を行った。

怪しい人物から電話がかかってきたときは、すぐに電話を切ること、電話口でのお金の話は信用しないことを呼び掛けることで、地域の防犯意識の向上に努めた。

活動中の写真



連坊地区防犯協会における自転車盗難防止キャンペーンについて

実施日時:令和5年11月14日(火)7:30~8:30

実施場所:地下鉄東西線連坊駅西口前周辺

相手方:連坊地区防犯協会
若林警察署連坊交番

実施内容

通行する人へ、啓発チラシ及び啓発物品を配布し、自転車を停める際には施錠するよう呼びかけ、自転車盗難防止に向けた意識向上に努めた。

活動中の写真



六郷地区防犯協会における青パト出動式について

実施日時:令和 5 年 11 月 16 日(水)16:00~17:00

相手方:六郷地区防犯協会
六郷地区町内会連合会(会長)
地区内各单位町内会長
若林警察署六郷交番

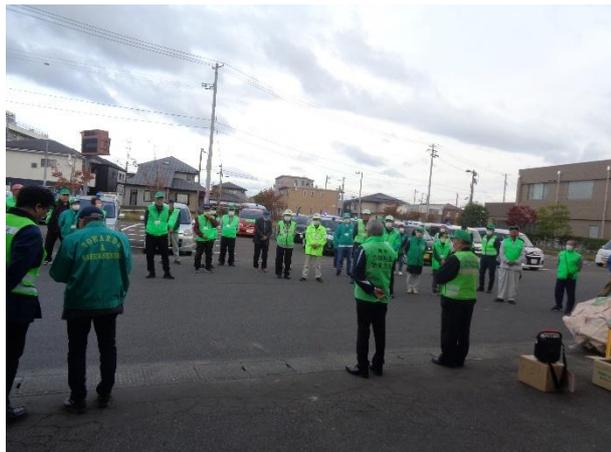
上記日程において実施された標記の活動について、概要は下記の通り。

実施内容

開催場所に集合し、六郷地区防犯協会長、町内会連合会長、六郷交番署長、本区職員が挨拶を行い、地区の青色回転灯パトロール車の出動号令を行う出動式を開催した。

式後は、数班に分かれて青色回転灯を点灯しつつ、六郷地区内を巡回した。

活動中の写真



若林区内単位防犯協会との情報交換会について

実施日時:令和6年2月15日(木)14:30~16:00

相手方:若林区内単位防犯協会(会長)
若林警察署生活安全課

実施場所:若林区文化センター別棟 3階 第4会議室(区役所建物の東隣)

実施内容

・議題(1時間程度)

- ① 各単位防犯協会における活動時の工夫点、改善を要する点
- ② 各単位防犯協会における全般的な課題
- ③ 各単位防犯協会がカバーするエリアの町内会等行事、及びそれに係る防犯活動の参画の有無
- ④ 本区に対する要望等
- ⑤ その他(区からの事務連絡等:補助金等)

・講師による講演(30分程度)

「仙台荒町子まもりプロジェクト」の庄子実行委員長による事業紹介

会場写真



令和5年度 区民協働まちづくり事業（企画事業）実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

2. 事業名

第35回若林区民ふるさとまつり

3. 事業の概要

区民による実行委員会が主体となって、区民の総合的な交流の場を提供し、地域の交流推進と活性化を図る。区民の文化芸術活動の発表（ステージパフォーマンス、わたしの作品展、学校じまん）や地域資源を活用した企画（ザリガニ釣り、弟子入り体験教室、若林区民ふるさとまつりスタンプラリー）、地元物産の販売などを行う。

4. 事業の目的・ねらい

若林区内における総合的な交流の場を提供することにより、区民意識の高揚や地域の活性化を図るとともに、区民協働によるコミュニティづくりを目指す。

5. 事業の成果・効果

新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、検温や飲食エリアの制限などの感染対策を廃止し、通常規模による開催となった今回は「元気にいこう！わかばやし」をテーマに開催した。

● 区民協働による若林区最大のイベント

主に若林区民を中心とした24名の実行委員とまちづくり推進課（事務局）で構成される「若林区民ふるさとまつり実行委員会」が当日までの準備を担った。

また、まつり当日は実行委員だけでなく、若林区に関わりのある多くの団体から協力を得ており、当日従事するスタッフは100名を超えた。まつりへの主な参加・出店団体は、区内の民間企業、官公庁、福祉団体、学校、個人団体など、多様な人が関わっている。

多様な主体が協力してイベントを作り上げたこと、若林区ならではの企画を多く実施したことで、運営側及び来場者双方の若林区への愛着の醸成や区民意識の高揚に寄与したと考える。

● 昨年度との主な変更点

・宮城県警察音楽隊や仙台市海岸公園馬術場が新しく参加した。警察音楽隊はステージ演奏やバトンガールによるバトントワリングを行い会場を盛り上げ、海岸公園馬術場はミニチュアホースふれあい体験やえさやり体験を行い、一層の賑わいをみせた。

・フリーマーケットを4年振りに開催し、22名が出店した。

<p>・令和5年4月に締結した、東北学院大学と若林区との連携協力事業の一環により、1名の学生がまつりの運営に携わり、4名の学生が当日のボランティアを行った。</p> <p>● 主な実績値</p> <p>来場者数：20,000人（昨年度15,000人）</p> <p>出店団体数：39団体</p> <p>出演団体：18団体</p> <p>ボランティア数：約70名（若林郵便局、東北電力ネットワーク、東北学院大学生、東北農業テック&カフェ専門学校学生、交通指導隊など）</p> <p>協賛金：84件（849,637円）</p>

6. 事業費（決算額）

<p>6,497,828円（財源 仙台市共催負担金4,050,000円 協賛金、繰越金等）</p> <p>内訳：総務費806,529円 おまつり費（会場設営含）5,226,771円</p> <p>特別企画費464,528円</p>

7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和5年	
5月15日（月）	第1回実行委員会
6月9日（月）	第2回実行委員会
7月10日（月）	第3回実行委員会
8月24日（木）	第4回実行委員会
9月19日（火）	第5回実行委員会
9月29日（金）	おまつり広場参加者説明会
9月24日（日）	ステージパフォーマンス・フリーマーケット説明会説明会
10月19日（木）	第6回実行委員会
11月5日（日）	第35回若林区民ふるさとまつり
11月29日（火）	第7回実行委員会
令和5年	
8月3日（木）～	スポ・レク・フェスタ2023開催（全9種目）
11月19日（日）	
その他班会議	
<p>・庶務班会議3回 ・広報班会議7回 ・わたしの作品展班会議5回</p> <p>・特別企画班会議5回 ・健康づくりフェスティバル実行委員会5回</p>	

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

<p>昨今の価格高騰の影響により、予算を上回る支出があった。（今年度は繰越金で対応）来年度は事業費を抑えつつ、協賛金や出店料での収入を上げる等、財政面の見直し</p>

しが求められる。

実行委員の固定化、高齢化に伴い、人材の発掘・育成が必要である。

9. 今後の事業の目標・展開等

収入増を目指し、例えば、メリットが得られる協賛金のあり方を検討する。支出面では、限られた予算の範囲で適切に運営できるよう、費用の見直しを行う。

継続して、学生等の若い年齢層に対し、広く参画を呼び掛けていく。

令和5年度 区民協働まちづくり事業（企画事業）実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

2. 事業名

地域メディアの活用による創造プロジェクト（「ラヂオはいらいん若林」制作・放送）

3. 事業の概要

地域の魅力と情報を発信するため、区民スタッフがコミュニティFM（ラジオ3）の協力を得ながら、番組制作及び放送を行う。

4. 事業の目的・ねらい

区民とコミュニティFM放送との協働・連携による地域情報番組づくり及び区民に向けて公開放送を通して広く区民のコミュニティ意識を高め、さまざまな角度から地縁に対する再認識とともに進めるまちづくりへの気運醸成を図る。

5. 事業の成果・効果

今年度は、7月1日から3月23日まで18の放送番組を作成した。全体会で区民スタッフが自由に意見を交わし取材先や内容を決定した。地域でのイベントや若林区やまちづくり協議会の活動、区内の職人などへの取材を行った。2月には、東日本大震災後にオランダ女王も食事をされた「農家レストランちょっくら」の営業再開の取材の際には、スタッフ同士の懇親も兼ね有志10名が集まり日辺の野菜を堪能した。番組を通して、リスナーがまちづくり活動を知るきっかけを作り、地域の魅力の掘り起こしに貢献できた。

○若い世代へのアプローチ

これまで、より広く番組を発信するため、市内図書館にて音源の貸出やスマートフォンアプリでの視聴の対応、番組アーカイブのブログへのアップロードを行ってきた。令和5年度から、ブログに代わり、若い世代でも聞きやすいように「Podcast」や「Spotify」で音源を再生できるようにアーカイブ方法を変更し、さらに番組アップロードをラジオ3のXで通知することも開始した。

また、昨年4月に若林区内に東北学院大学の五橋キャンパスが出来たことを受け、学生をターゲットに、ラヂオはいらいん若林の区民スタッフ募集の働きかけを行い、2名の学生の参加に繋がった。地域との繋がりを体験してみたいとの動機で取材先の提案やアポイントに積極的にに関わり、荒井東市営住宅の秋まつりや後藤弓具店など4つのテーマを担当した。

○区民スタッフの負担軽減と取材内容の拡張

これまで1テーマに対し、1番組を作成してきたが、取材スタッフの負担軽減と番組内容の充実をはかることを目的として、1テーマで前後編の2番組を作成する試みを行った。1か所の取材先でも様々なお話を聞くこともあり、より充実した番組の作成につなげることが出来た。

6. 事業費（決算額）

966,438円（仙台市補助金 1,050,000円）（未確定）

委託料(ラジオ3)…962,478円

7. 実施状況

実施時期	実施内容
5月17日	第1回全体会議（7月～9月の放送内容の決定）、取材方法等の確認
8月23日	第2回全体会議（10月～12月の放送内容の決定）、取材方法等の確認
11月30日	第3回全体会議（1月～3月の放送内容の決定）、取材方法等の確認
2月22日	第4回全体会議 1年の振り返り、次年度の企画に関する方向性等

- 放送期間：令和5年7月1日～令和6年3月23日
- 本放送：第1・第3土曜日午前10時～10時30分
- 再放送：第2・第4土曜日午前10時～10時30分
- 制作本数：18本

No.	放送日	テーマ	No.	放送日	テーマ
1	7/1 7/8	荒町～河原町まち歩き 前編	10	11/18 11/25	若林の職人シリーズ 竿政 前編
2	7/15 7/22	わたしのふるさとプロジェクト	11	12/2 12/9	若林の職人シリーズ 竿政 後編
3	8/5 8/12	合唱のつどい	12	12/16 12/23	第8回心をつなぐ若林・宮城野シーサイドマラソン
4	8/19 8/26	荒町～河原町まち歩き 後編	13	1/6 1/13	声の年賀状 まちづくり協議会参加学生 ①佐藤(聖)さん ②千葉さん ③佐藤(菜)さん
5	9/2 9/9	地下鉄荒井駅周辺のまちづくり	14	1/20 1/27	東(あずま)街道のまちあるき
6	9/16 9/23	地下鉄荒井駅周辺のまちづくり	15	2/3 2/10	東(あずま)街道のまちあるき－南染師町の洞口さん
7	10/7 10/14	荒井東市営住宅の秋まつり	16	2/17 2/24	畑の中のごはん屋 ちょっこら 前編
8	10/21 10/28	若林区民ふるさとまつり	17	3/2 3/9	畑の中のごはん屋 ちょっこら 後編
9	11/4 11/11	若林の職人シリーズ 後藤弓具店	18	3/16 3/23	会報はいらいん若林

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

ラジオを聴く環境がない方や放送時間帯に聞けない場合があるため、一人でも多くの方が聞くことを出来るようにする工夫が必要と感じている。あわせて番組そのものを知ってもらうため、ラジオ3番組表や区内全戸に配布する「会報はいらいん」への掲載のほかにも周知・広報が出来ればと考えている。

区民スタッフは、自らが取材したいと思うところを積極的に提案いただけているが、取材の交渉や訪問の負担が大きいことも事実であるため、区民スタッフの増員や取材負担の軽減も課題である。

9. 今後の事業の目標・展開等

番組を知ってもらいリスナーを増やす工夫として開始した「Podcast」や「Spotify」への音源掲載を継続するとともに、番組の周知・広報を検討したい。

今年度は、大学生2名が新たに市民スタッフとして加わったが、これからも毎年大学生に募集をかけ、新規加入を働きかけていきたい。あわせて継続して参加可能な区民スタッフの増員についても検討したい。

令和5年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会（まちづくり推進課）

2. 事業名

第30回「若林区合唱のつどい2023」

令和5年7月2日（日） 聖和学園高等学校薬師堂キャンパス サールナートホール

3. 事業の概要

若林区文化センターを会場として、区内の小学生から大人までが参加する合唱の発表会を若林区合唱のつどい実行委員会（合唱連盟わかばやしと若林区まちづくり協議会で構成）を組織し開催した。また、例年会場となっている若林区文化センターは、大規模改修工事で使用できないため、聖和学園高等学校薬師堂キャンパスの施設を貸していただき、今年度も開催することができた。

- ・ 開催日：令和5年7月2日（日）
- ・ 場 所：聖和学園高等学校薬師堂キャンパス サールナートホール

4. 事業の目的・ねらい

若林区内の小・中・高の合唱団や吹奏楽部、「合唱連盟わかばやし」加盟の団体等が参加し、合唱を主体とした音楽祭を開催することで、地域の方々との触れ合いや交流を図るとともに、地域文化活動の活性化を目指す。

5. 事業の成果・効果

今年度は、指差消毒液の設置やマスクの受付時配布などの感染防止対策をしながら開催し、「合唱連盟わかばやし」に加盟する11団体、区内の中学校が1校、高校が1校、福祉関係が1団体、そして若林区役所職員の有志合唱部が参加した。また、特別企画として、聖和学園高等学校のチアリーディング部と吹奏楽部を招き、力強くも華麗な演技や演奏で会場を盛り上げてもらった。

公募して結成する区民合唱団「宙」は、例年練習場所として利用してきた若林区文化センターが大規模改修工事で使用できず、他にピアノが設置されている練習室が確保できなかったため、募集は行わなかった。

合唱のつどいを通じて、地域の方々とのふれあいや交流の場が生まれることで、地域の文化活動の輪が広がることにより、参加人数も500名を超え、地域の文化活動の活性化の一端を担っている。

6. 事業費（決算額）

601,000 円（うち仙台市補助金 531,000 円）（未確定）	
（内訳）	
印刷費	90,000
謝礼等	90,000
著作権使用料	10,000
消耗品代	190,000
食糧費	80,000
合計	460,000

7. 実施状況

活動年月日	活 動 実 施 内 容
4月11日	運営委員会(第1回)
4月26日	運営委員会(第2回)
4月26日	若林区内の小・中・高への参加案内通知
5月24日	開催チラシ印刷
5月25日	聖和学園高等学校との打合せ
5月25日	開催ポスター作成
5月25日	公共施設等チラシ配布依頼
6月1日	市政だより(開催のお知らせ)
6月2日	参加団体全体会議
6月13日	来賓の案内通知
6月14日	出版物許可申請
6月15日	運営委員会(第3回)
6月27日	プログラム印刷
7月2日	合唱のつどい本番
8月7日	運営委員会(第4回)
9月26日	運営委員会(第5回)
11月21日	運営委員会(第6回)
1月23日	運営委員会(第7回)
3月4日	運営委員会(第8回)

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

「合唱のつどい」の実行委員会の中心的役割を担っている「合唱連盟わかばやし」の高齢化が進んでおり、今後も継続していくためには、連盟への若年層の参画が必要である。

また、参加団体の固定化も危惧しており、中高生の合唱団や地域の合唱サークルが参加しやすい工夫が必要と感じている。

9. 今後の事業の目標・展開等

課題等を踏まえ、持続可能な取り組みを基本としながら、若林区内の文化活動を活性化するため、幅広い層に関心をもってもらい、参画を促進するよう合唱連盟への提起をしていきたい。

令和5年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

広瀬川灯ろう流し実行委員会 （まちづくり推進課）

2. 事業名

第34回広瀬川灯ろう流し“光と水とコンサートの夕べ”

3. 事業の概要

広瀬川の河川敷（宮沢橋～広瀬橋）に特設会場を設営し、野外コンサート、天燈打ち上げ、灯ろう流し、縁日コーナーを開催する。

- ・ 開催日 令和5年8月20日（日）
- ・ 開催時間 正午～午後8時30分
- ・ コンサート 地元の中学生による吹奏楽の発表その他公演
- ・ 天燈打ち上げ 午後6時30分頃～午後8時00分頃

4. 事業の目的・ねらい

全国的に知られ仙台市民の誇りである広瀬川にまつわる歴史・文化に触れる機会を創出することを事業の目的とし、参加者が改めて広瀬川の自然を認識できることをねらいとする。

5. 事業の成果・効果

- ・ 来場者数はのべ3.5万人であった。
- ・ 地元中学校や地域団体の参加、警察・消防等の協力で、住民参加の催事を事故等なく開催することができた。
- ・ 今回は花火を中止し、ランタンや竹灯ろうにて開催しましたが、近隣商店街への来街者も多く、飲食店等への来店顧客・デリバリーの顧客増に繋がった。

6. 事業費（決算額）

7,651,847円

※財源として、仙台市より補助金2,836,000円

若林区 1,418,000円（会場設営費）

太白区 1,418,000円（警備人件費、広告宣伝費）

7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和5年4月14日	事務局担当者会議（開催の検討・役員改選他）
4月20日	若林警察署地域課打合せ
5月31日	第1回全体会議（役員選任・事業概要説明・承認）
7月11日	業者会議（会場設営確認）
7月19日	第2回全体会議（開催準備状況確認）
8月4日	安全対策会議（楽楽楽ホール 若林警察署他）
8月20日	開催当日 広瀬川灯ろう流し“光と水とコンサートの夕べ”開催
8月21日	現場清掃作業
9月末日	監査会開催

8. 事業を行ってみたいの問題点・課題等

資金難のおり、今回も各商店街において募金活動・広告協賛活動を行い、市民及び商店街各店の方々の多大なる支援をいただきながら開催できたことに感謝するとともに、あらためて今行事が地域の催事として受け入れられていると認識したところである。

今回は、夏休み最後の日曜日で、多くの来場者を受け入れる状況となったが、花火を中止したため、大きな混乱が生じることはなかった。

花火打ち上げは、鎮魂とともに夏の終わりを感じさせ、来場の方々には大変喜ばれ期待されているため、来期の実施について、実行委員会で検討していく。

9. 今後の事業の目標・展開等

太白区・若林区両区の夏の催事として事業を継続していくため、実行委員会のみならず、地元の商店街スタッフや地元住民を巻き込んで、市民ボランティア等の知恵とマンパワーを拝借し、当日の運営や費用捻出を安定的なものにしていきたい。

令和5年度 区民協働まちづくり事業（企画事業） 実績概要報告書

1. 主催者（担当課）

若林区まちづくり協議会(事務局 若林区まちづくり推進課)

2. 事業名

若林区魅力発信事業(若林わくドキまち歩き)

3. 事業の概要

若林区への愛着や興味を促進させるとともに、地域の魅力を体感できるイベントとして、まち歩きを実施する。

4. 事業の目的・ねらい

若林区の歴史的な街並みなど、他区とは一味違う魅力を多くの方に知ってもらい、興味・関心を持っていただくためのまち歩きである。また、若林区内の方にも参加していただき、普段は気に留める事のない場所を歩くことで、新たな若林区の魅力を発見していただくことを目指す。

5. 事業の成果・効果

今年度は、全3回のまち歩きを実施した。3回とも申込者が多く抽選となった。特に恒例となっている4月の花見を含む連坊～新寺周辺のまち歩きは好評で、倍率は約9倍であった。リピーターも多く、また、アンケートからも毎回のまち歩きの満足度が高いことを確認している。他区からの申込みも約8割と多く、若林区の魅力を多くの人に知ってもらえる事業になっている。

また、9月のまち歩きからは、往復はがきだけでなくインターネット（みやぎ電子申請システム）での申し込みも可能とした。申込者の大部分が高齢者である現状を受け、申し込み方法を複数設けることで、より幅広い世代の新規獲得を目指した。実際にインターネットを利用した申込者は全体の約4割であった。

6. 事業費（決算額）

○収入 174,500円

内訳（仙台市助成金：150,000円 事業収入（参加費@500円）：24,500円）

○支出 174,500円

内訳（保険料：3,810円 ガイド謝礼等：50,000円 バス借上等：43,410円

参加者お土産代：38,300円 消耗品費・雑費：38,980円）

7. 実施状況

実施時期	実施内容
令和5年 4月15日	第1回 まち歩き「新寺こみちを歩く 桜・お寺通り」
4月21日	第1回 若林わくドキまち歩き企画会議
5月19日	第2回 若林わくドキまち歩き企画会議
6月10日	第2回 まち歩き「今昔・南染師町を巡る」
6月12日	第3回 若林わくドキまち歩き企画会議
8月21日	第4回 若林わくドキまち歩き企画会議
9月30日	第5回 まち歩き「貞山堀の昔とこれから」
10月4日	第5回 若林わくドキまち歩き企画会議
12月5日	第6回 若林わくドキまち歩き企画会議
令和6年 1月15日	第7回 若林わくドキまち歩き企画会議
2月8日	第8回 若林わくドキまち歩き企画会議
3月18日	第9回 若林わくドキまち歩き企画会議

8. 事業を行ってみての問題点・課題等

参加者は高齢者が多く、年齢層に偏りがある。9月のまち歩きからは、往復はがきの他にインターネット（みやぎ電子申請システム）からの申し込みも受け付け、参加年齢層の拡大を目指したが、結果には繋がらなかった。今後もテーマ選定や広報手段を考えて、若年層をターゲットとしたまち歩きの開催も模索していきたい。

9. 今後の事業の目標・展開等

新規メンバーの獲得や外部団体との連携を行い、これまでと違った新鮮さを取り入れることで、より多くの市民が興味関心を引くコンテンツを創出していける事業にしていきたい。